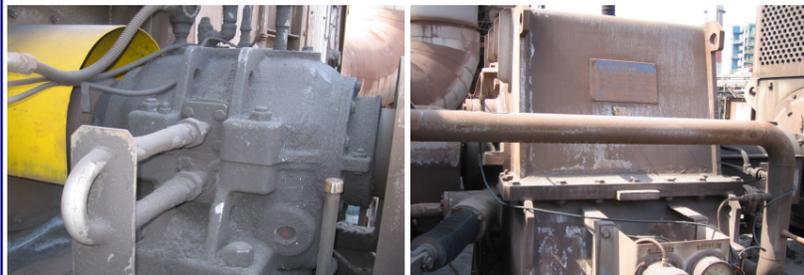


D'ignose karte 振動診断カルテ

F.No 1032

PM 2009PM優秀商品賞 2009年度賞	判定コード	A-屋外粉塵多し-AC5 加速度波形の異常!	測定 解析	株式会社 沢田 作雄	
	対処	分解整備の必要			
会社名	ABC社	製造所	DE工場	動力伝達	流体継手
設備名	〇〇流体継ぎ手			モータ容量	4P 1600.0kW 48枚
計測日時	2010年〇月△日			回転数	971.0 rpm
計測目的	異音の調査			機器回転数	971.0 rpm
機種	流体継ぎ手			基礎タイプ	コンクリート基礎

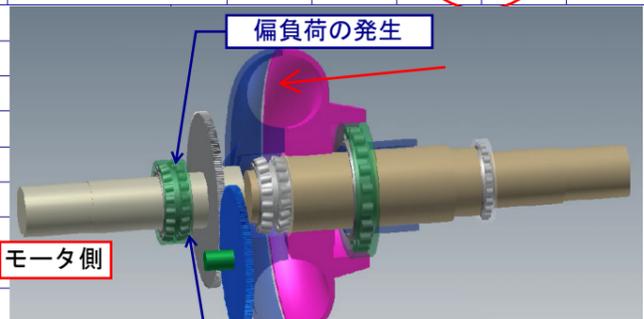


05V	24028CAE4	05R	24126
潤滑方式		オイル循環式	
06V	NJ1028	06R	NJ1044
潤滑方式		オイル循環式	
制御方式		AC IN V制御	
負荷条件		フル運転 24h	
総運転Hr	83000 Hr	一般寿命Hr	
メーカー	(株)〇〇製作所		

症状/異常原因	CH	1	2	3	4	型式	
軸受部の摩耗		×	×			製造	1997年
保持器の周期		×	×				

部位 方向	VEL 振動速度 [mm/s]		ACC 振動加速度 [m/s ²]				contents	参考データ 1033		収集日時 2010/09		2
	Peak	rms	Peak/5	rms	CF	impact		VEL [mm/s]	ACC [m/s ²]	Peak/5	rms	
05V	2.00	0.43	19.59	19.29	1.02		MAM・fc	1.45	0.32	3.57	3.60	0.99
05R	2.62	0.55	16.51	16.01	1.03		MAM・fc	2.60	0.46	2.97	2.82	1.05
06V	1.39	0.36	10.36	10.77	0.96		→ 加速度低下	2.25	0.47	4.37	4.27	1.02
06R	2.28	0.51	5.08	4.20	1.21			2.20	0.44	4.24	3.55	1.19

保全履歴	
2010年9月	異常音と異常振動で分解整備の実施
2006年4月	異常振動は流体継ぎ手内部の外輪周期
2006年1月	インペラ・軸受け内部の点検 O/R 擦れ
2010年8月	カップリングの損傷



[所見]
 ・測定された振動値は19.85Hzの回転周期での衝撃と軸の揺動が認められます。
 軸受部の状態は不可、保持器の摩耗が進展していると想定されます。
 緊急に分解整備が必要です。

【分解整備後の所見】
 ・分解整備後の入力側の卓越周波数は、263Hzと395Hzでこの周波数は分解整備前の異常振動状態でも確認出来ます。今後、この性状の変質を注目して下さい。
 ・263Hzはインナーレースのパス周波数に起因し、アキシャル方向に荷重荷荷が掛かっているのが、トラブルの主因と判断します。

[memo]
 入力回転数 = 1191rpm
 出力回転数 = 1155rpm

ベアリング	24028CAE4	回転数	1191		
fr	2fr	3fr	fp	48 数	
周波数	19.85	39.70	59.55	952.80	
周期	50.38	25.19	16.79	1.05	
fo	fi	fb	2fb	fc	
周波数	223.80	272.45	98.11	196.23	8.95
周期	4.47	3.67	10.19	5.10	111.71

